

プロフィール



名前	藍川 志津
所属部署	東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科
職種	特任研究員
この研究室に入った日	2020年4月
出身地	新潟県
趣味	家族で散歩、手芸

インタビュー

Q1 現在の研究内容を教えてください。

胚着床のメカニズム解明を目指した研究を行っています。

本邦でも高度生殖医療が保険適用され、体外受精・胚移植の需要はますます高まる一方、子宮内膜側の何らかの異常で妊娠が成立しない着床障害が問題となっています。よって、子宮内膜の機能を担保する分子機構を解き明かすことは、不妊の診断や治療に役立つと考え研究しています。

Q2 研究者を志したきっかけは？

高校生のとき、友人が原因不明の生殖系障害を抱えていることがわかったことが大きなきっかけです。当時の私はあまりに無知で、こんなにも医療が発達しても診断も治療もできない病気があるということに衝撃的を受けました。そこから新聞などで不妊や高度生殖医療の問題を目にするようになり、特に女性の生殖機能がどのように制御されているのかを明らかにしたいと考えるようになりました。

Q3 若手研究者へのメッセージ

「起こったことは良いことだ」留学中にお世話になった先生からの金言です。